



互いを認め合える学校を目指して

生活指導主任 稲葉 晃平

6月は「ふれあい月間」です。「ふれあい月間」は、人との関わりを大切にし、互いを認め合いながら安心して生活できる学校づくりを進めるための取り組みです。学校では、「いじめ防止強化月間」とも表現をしたりします。第一中学校では、6月・11月の年間で2回いじめアンケートを行うこととなっています。また、今年は国分寺市において、各学校からいじめ標語を募集することになりました。第一中学校においても、各学年から標語を募り、学校の代表作品を選定していきます。

中学校生活では、友達との関わりだけでなく、先輩や後輩、先生方、地域の方々など、多くの人との繋がりが 있습니다。その中で、相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動を心がけることは、より良い人間関係を築くために欠かせません。一方で、何気ない言葉や行動が相手を傷つけてしまうこともあります。

「ふれあい月間」を機会に、自分自身の言動を振り返り、「相手はどう感じるだろうか」と考えながら行動することの大切さについて考えてほしいと思います。また、困っている友達に声をかけたり、悩みを抱えている仲間の存在に気付いたりすることも大切です。第一中学校では、道徳の授業において、いじめに関する内容も扱っていく予定です。誰もが安心して学校生活を送ることができるよう、一人ひとりが思いやりの心をもって行動することを期待しています。

ご家庭におかれましても、お子様の学校生活や友人関係について話題にさせていただき、相手を尊重することや思いやりのある行動について考える機会としていただければ幸いです。学校と家庭が連携しながら、生徒たちが安心して成長できる環境づくりに努めてまいります。自他の存在を尊重する心を持ち、互いを認め合える学校を目指していきましょう。

